

夏季休暇を利用して高等工科学校生徒が母校訪問 「担任教諭も成長した生徒の姿に驚き」

自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 平原一陸尉）は、8月3日（月）と4日（火）の両日、高等工科学校生徒の母校訪問を実施した。これは夏季休暇を利用して、学校OBとして生徒のそれぞれの母校訪問に同行したもので、中川圭吾君は県立瀨谷西高校（瀨谷区）、柳晴翔君は境木中学校（戸塚区）を訪問した。中川君は瀨谷西高校1年終了時に高等工科学校に入校し、現在2年生で2年ぶりとなるが、当時数学の担任だった深見先生が迎えてくれて「体つきが変わったね」と久しぶりに見る姿に驚いた様子だった。柳君は現在1年生で約4ヶ月ぶりの訪問となり、担任だった三瓶先生に「短い期間で成長したね」と声を掛けてもらうと、やはりにかみながら笑顔を見せた。両校ともコロナ禍の中、快く迎えていただき、2人とも「訪問してよかったです」「そんなに前の卒業ではないけど、とても懐かしく感じました」などと感想を話してくれた。

横浜中央募集案内所は「コロナ禍の厳しい状況ではあるが、今後も生徒達やその親御さんと連絡を取り合って、学校訪問などを積極的に実施し、今後の募集成果向上に努めていきたい」とコメントする。



神奈川地方協力本部庁舎前にて
左から、石村広報官、柳君



境木中正門前にて
左から、三瓶先生、柳君、石村広報官



県立瀨谷西高校にて
左から榊山広報官、深見健先生、中川君

防衛大学校学生が受験希望者にアドバイス

自衛隊神奈川地方協力本部川崎出張所（所長 佐藤3陸佐）は8月17日（月）、出張所を訪問した防衛大学校受験希望者の学生3名に対し説明会を実施した。
4月22日・23日の2日間、自

これは今年度、川崎出張所から防衛大学校に入校した西田凌晟学生に担当広報官（山崎2陸曹）が「今年度受験希望の学生はコロナ禍の影響で例年のような自衛隊イベントに参加しての情報収集ができないため、入校へ前向きになるようにぜひ力を貸してほしい」と依頼し快諾してくれたもので、今回の説明会が実現した。

説明会は、消毒や飛沫防止処置などコロナウイルス感染拡大防止策を施したスペースを利用して実施し、受験に向けた勉強方法のアドバイスから始まり、学生生活で経験したことをユーモアを交えて話しながら学生たちの素朴な疑問にも真摯に答えていた。西田学生は「私自身も1年前に同じようにこの出張所で防衛大学生との対話の場を設けていただいたことで、入校へ向けてモチベーションが上がり今の自分があると思っています。恩返しができた気持ちです」と感慨深く語った。

川崎出張所では「今後も隊員や学生と連携を図り、受験希望者の疑問や質問に解答し、受験希望者の不安を払拭したい」としている。



飛沫防止対策が徹底されたスペースで
受験希望者の質問に答える西田学生